

香川県立ミュージアム

「水のミュージアム」のコーナーでは、水に特化した展示や調査研究や水に関する特徴的な展示等を行っているなど「水」にスポットライトを当てた博物館をご紹介します。第1回は「香川県立ミュージアム」です。

ミュージアムの概要

香川県立ミュージアムは、JR 高松駅や高松港など香川県の交通の要衝から近く、高松城跡にも隣接した地にあります。

このミュージアムは、平成 20 年に香川県歴史博物館と香川県文化会館の美術部門を統合して誕



香川県立ミュージアムのエントランス

生した、比較的新しいミュージアムです。美術館と歴史博物館の機能を併せ持つミュージアムは全国的にも珍しく、香川の文化拠点として幅広い活動が行われています。

水とのかかわり

香川県立ミュージアムには、常設で「香川用水」の展示コーナーがあります。特定の施設に的を絞った展示コーナーは珍しいのではないかと思います。主任専門学芸員の渋谷さんお話を伺いました。渋谷さんによると、この展示コーナーは前身の香川県歴史博物館で、日本最大の灌漑用ため池で空海が改修したことで知られる満濃池をはじめ、香川県における人々の暮らしと水とのかかわりを展示していた「水と暮らし室」という展示コーナーからその一部が引き継がれたものだそうです。展示の見直しに際し「水と暮らし室」は閉室となりましたが、香川県最大のインフラともいわれる香川用水の展示だけは県民の方々から残して欲しいとの声上がり、現在の形で引き継がれたそうです。

展示コーナーには、吉野川から香川県に導水する阿讃導水トンネルの実物大模型のほか、県内を流れる香川用水を上空から眺める衛星写真、香川



展示コーナー入口



阿讃導水トンネルの実物大模型



香川用水の流れが分かる衛星写真



歴史展示室で金毘羅参詣の歴史を伝える「江戸講中灯笼」

用水について解説したパネルなどが展示され、毎年、小学4年生の「水の学習」や小学6年生の「歴史学習」など小学生の学習を中心に活用されています。

香川県立ミュージアムは、香川用水の展示を始め見どころいっぱいでした。今度は、取材ではなくプライベートで訪れたいと思います。

※「香川県立ミュージアム」の詳しい情報はこちら
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/index.html>

ミュージアムの魅力

香川県立ミュージアムでは、香川の歴史を時代順に展示した歴史展示室のほか、ミュージアムが誇る美術作品や香川の歴史などに関する様々なテーマ展示、大規模な特別展などが開催されています。また、十二単や鎧兜の着付け体験のほか、じゅうにひとえ よろいかぶと投扇興や貝合わせなど昔の珍しい遊びや、おはじきやコマ回しなど昔懐かしい遊びなどを体験できる体験学習室では親子やおじいさんおばあさんとお孫さんが一緒になって楽しむことができます。

香川の文化拠点として幅広い活動を行われています。

アクセス MAP



【香川県民の水に対する意識】

瀬戸内海式気候に属する香川県では降水量が少なく、満濃池をはじめとする多くのため池が作られてきました。近年は香川用水の通水により水の安定供給が図られていますが、平成に入ってから平成6年、17年、20年に香川用水の水源となる早明浦ダムの利水貯水率が0%となるなど、吉野川からの取水制限が繰り返されています。昨年、地元の四国新聞社が行ったアンケート調査でも、「香川県で暮らしていて心配なこと」の質問では交通事故や地震、各種犯罪などの回答を上回り「水不足」との回答が最多でした。このような県民の意識が、香川県立ミュージアムに香川用水の展示コーナーが残された一因になっているようです。



早明浦ダムにある碑